

EC

対象	乳癌
----	----

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	エピルビン	100(90)mg/m ²	点滴静注	自然滴下(全開)	d 1
2	シクロホスファミド	600mg/m ²	点滴静注	60min	d 1

1コース期間	21日間	
総コース数	術後療法は6コース、再発治療の場合はエピルビシンの総投与量が900mg/m ² を超えない範囲	
コース間での休薬の規定	投与開始前に以下の基準を満たしていることを確認する。満たしていない場合は休薬し、基準を満たした時点で投与を開始する。なお、コース開始が延期された場合は、延期された開始日そのコースのday1とし、以降のスケジュールはこれに従う。	
投与量の増量規定	規定せず	
減量規定・中止基準	38℃以上の発熱を伴う好中球減少症(250以下)あるいはコントロールできない嘔気や全身倦怠感が生じた時、エピルビシンを80(60)mg/m ² に、シクロホスファミドを450mg/m ² に減量する(各々75%減量)。投与開始予定日より21日を越えても以下の開始基準を満たさない場合は、本治療を中止とする。	
コースによる変化	規定せず	
投与間隔の短縮規定	規定せず	
2コース目以降の投与開始基準	自覚症状、一般臨床所見 白血球数 好中球 血小板 熱発 肝機能 腎機能	Grade 0-2 2500/mm ³ 以上 1000/mm ³ 以上 100000/mm ³ 以上 感染を伴う38℃以上の発熱がない AST, ALT, T-Bilいずれも基準値の上限2.5倍以下 クレアチニンが基準値の上限以下
注意すべき副作用	血管外への漏出、骨髄抑制	

EC

1コース期間
投与所要時間

21日
1時間 30分

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	day1	day8	day15
主管	1	生食 100mL デカドロン 9.9mg アロキシ 1A ★イメンドカプセル 125mg内服		div	400ml/hr (15min)	○		
	2	生食 50mL ファルモルピシン【 】mg/body	100(90) mg/m ²	div	自然滴下 (全開)	○		
側管	3	生食250mL エンドキサン【 】mg/body ★単独側管で	600 mg/m ²	div	250ml/hr (60min)	○		
主管	4	生食50mL		div	200ml/hr (15min)	○		

コメント

day1 イメンドカプセル125mg、day2、3 イメンドカプセル80mg
day2～デカドロン8mg分1朝食後 3日間
day2～レバミピド300mg分3毎食後 3日間
ノバミン15mg分3(毎食後) 3日間(症状に応じて追加)

Reference:

JCO 1990;8:1483-1496, JCO 2001;19(4):931-942